

## 離島発「グローバル人材」育成のための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究

本校がその離島の特色を活かしながら目指すグローバル人材像を、「地球的視野で考えながら、足元から実践していける人材」であり、同時に「ふるさとや地域を想いながら、世界中で実践者として活躍できる人材」と定義する。

この人材育成のために、地域との協働により「地域・社会に開かれたカリキュラム」を開発し、グローバル人材に必要な「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの資質・能力の育成を目指す。

### ① コンソーシアムの体制

既設置の「島根県立隠岐島前高校魅力化と永遠の発展の会」及び「島根県立隠岐島前高校魅力化推進協議会」を母体とし、年度始に当該年度の目標設定の共有や年度末の結果や評価についての共有等、年に6回程度の会議を設け指導・助言を受ける。

### ② 地域協働学習実施支援員等の配置

校内に「コーディネーター」を4名配置し、地域課題解決型探究学習やカリキュラム開発に係る授業や打ち合わせに参画する。また、海外交流アドバイザーとして、「グローバルコーディネーター」を校内に1名配置し、「グローバル探究」等における現地調整や交流事業全般を担う。

## 令和3年度の目標

	目標値
卒業後のグローバルな進路選択者数	13%以上
卒業後も隠岐島前地域に積極的に関わろうとする生徒数	10%以上
	目標値
主体性、協働性、探究性、社会性における「自己能力認識」で肯定的意見の割合	72%以上
主体性、協働性、探究性、社会性における「行動実績」で肯定的意見の割合	80%以上
安心・安全の土壌、多様性の土壌、対話の土壌、開かれた土壌における生徒の肯定的意見が肯定的意見の割合	88%以上

## 取組状況

1. グローカルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施
2. 国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施
3. 地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施
4. 「伴走者フォーラム」の実施

## 成果と課題

従来取り組んできた「地域未来探究」を継承・発展させ、教科(科目)間のクロス・カリキュラムが行いやすい環境を整理した事や、主幹教諭・探究学習推進担当者・学校魅力化コーディネーターによる「地域未来探究推進チーム」を編成し、クロス・カリキュラムの計画・実施を推進したことにより、地域課題解決型学習と教科学習のブリッジを含む教科(科目)横断型授業の実践事例が増えたことは、今年度の大きな成果といえる。

「生徒の自己認識」における「主体性」や「探究性」に係る資質・能力が伸びていないことに課題が残る。次年度以降も引き続き、「地域未来探究」の取組を推進・充実させるとともに、より効果的な「振り返り」手法の開発にも着手したい。